

少人数体制共用施設の実際 ～技術系総合職の悲喜交々～

○石川 えり、小池 梨絵

信州大学 統合技術院（基盤研究支援センター機器分析支援部門）

1. はじめに

発表者らは大学全体を対象とした共同利用施設に配属されている。施設は正規技術職員2名と教員や非常勤職員とが協力して運営する体制であり、発表者らは技術的な支援のみならず、組織運営全般の中心的な役割を担っている。少人数での施設運営には必要なことは何でもやる姿勢が求められ、技術的な貢献としては地味であり、技術職員の在り方として発表者自身が疑問を感じてきた。しかし新型コロナウイルス感染症禍を経て、発表者らが技術者としては地味で評価されにくいと考えてきた働き方は、専門性と汎用性を兼ね備えた技術系総合職と言えるものであり、その存在が、大きな混乱やトラブルの少ない研究基盤には必要不可欠であることは疑いようがないと考えられるようになった。そこで本発表では、現在の業務全般やこれまでの変遷を紹介し、研究者のパートナーとしての技術職員の姿のひとつとして、技術系総合職について考えたい。

2. 背景

信州大学の研究基盤の一端を担う基盤研究支援センターは、学部とは独立した、全学の研究基盤の整備・拡充に取り組む共同教育研究施設であり、遺伝子実験支援部門、動物実験支援部門、機器分析支援部門、RI 実験支援部門、の4つの部門で構成されている。発表者らの配属先である機器分析支援部門は、長野、上田、松本、伊那の各地区に拠点があり、それぞれの地区に所在している学部の支援を中心に、拠点同士で連携をしながら分析機器を活用した全学的な教育研究支援をしている（図1）。発表者らは医学部と理学部がある松本キャンパスにて、主に生命科学系の分析で用いられる電子顕微鏡や蛍光顕微鏡、フローサイトメーターや定量PCR装置、プロテオミクス解析システムといった、約60台の装置の管理と、試料作製等の支援を行っている。扱う装置や技術は生命科学系の機器が中心であるものの、利用者の所属は医学部、理学部だけでなく、農学部、繊維学部、工学部や他大学、民間企業と多岐にわたっており、分野や所属を問わず幅広く支援している。

組織

- (1) 生命科学分野
 - ・ 遺伝子実験支援部門 (松本・上田地区)
 - ・ 動物実験支援部門 (松本地区)
- (2) 機器分析分野
 - ・ 機器分析支援部門 (松本地区)
 - 長野工学分室 (長野工学地区)
 - 伊那分室 (伊那地区)
 - 上田分室 (上田地区)
- (3) RI実験分野
 - ・ RI実験支援部門 (松本地区)

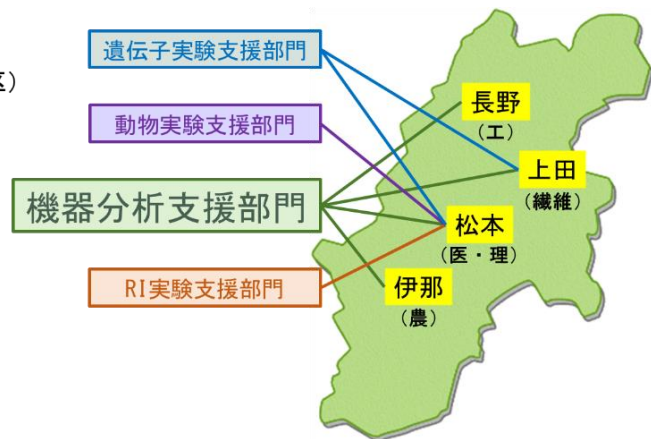


図1 基盤研究支援センター概要

3. 業務の変遷

基盤研究支援センター機器分析支援部門では、研究基盤を支える環境整備と機器利用・受託研究支援の両面で体制構築に取り組んできた。共用機器の利用ルールや利用料金の設定、予約・集計システムの構築・管理を行うことで、安心して分析機器を使用できる安定した研究基盤作りに取り組むと共に、学内の全ての研究者を対象とした5種類の受託研究支援を立ち上げ、運営してきた（図2）。

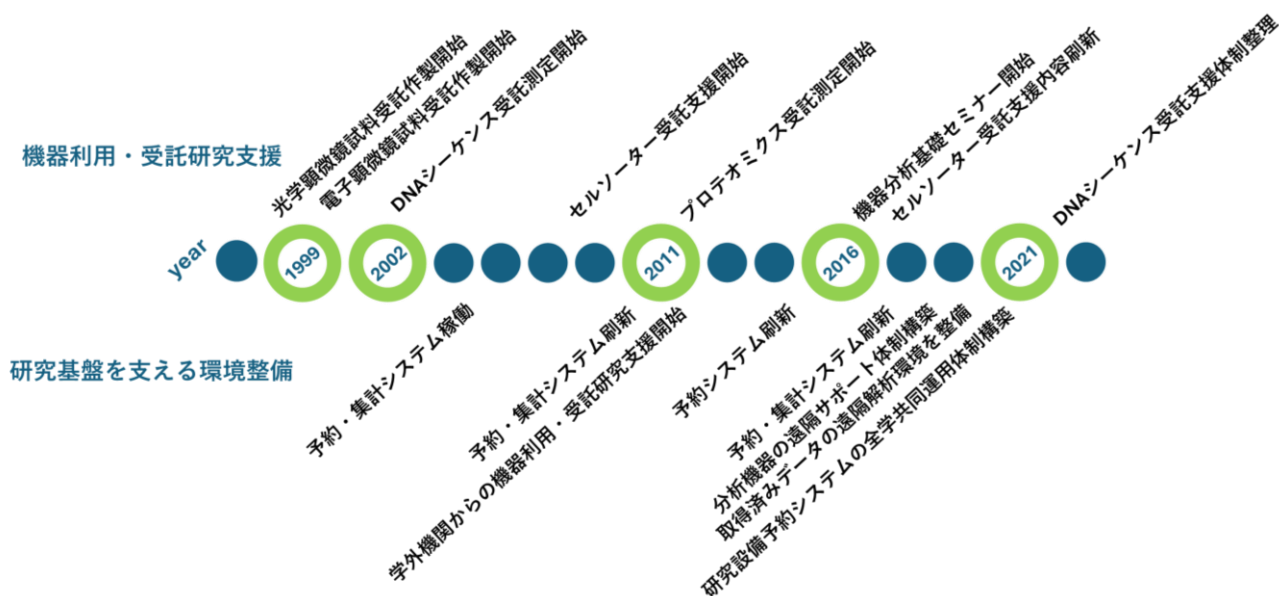


図2 主な業務の変遷

業務は多様化し増加していく一方で、発表者が任期付き職員として採用された 2011 年度当時に3名いた先輩技術職員は既に全員退職し、仕事は増えるが職員は減るといった状況である。近年は、昨年度退職した先輩職員や新しく迎えた新人職員と共に、引継ぎや研究基盤の維持と並行して業務の整理やチームで運営する体制づくりにも取り組んできた。研究基盤を安定して維持するためには、分業ではなく協働が必要であると考えて築いてきたチーム力により、コロナ禍においても大きな混乱やトラブルなく研究環境を維持することができた。近年は施設や機関の枠を越えた連携や共用にも携わるようになり、専門性と汎用性を兼ね備えた技術系総合職としての貢献を求められる機会が増えつつある。

4. まとめ

少人数体制共用施設における業務は、一つ一つを見ると地味なものが多い。勤務する職員には、高い専門性よりも必要なことは何でもやる姿勢が求められる傾向があり、発表者らの日常には技術力と共に極めて高度な総合力が必要とされている。そんな、業務を通じ必要に迫られて培ってきた総合力が、近年では多職種・他機関連携において力を発揮しており、技術系総合職がいるからこそ構築できる研究基盤があると考えられるようになってきた。人材不足が叫ばれる中で、何でもやる便利な技術系総合職が求められるようになっていくとも考えられるが、ただの下働きではなく、研究者の今を支えながら将来の研究基盤形成に貢献していくのだという自負を持って、誠実に役割を果たしていきたい。

謝辞

総合力の源泉はチーム力であり助け合いです。皆様のご協力に感謝いたします。